

2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月13日

上場会社名 グローブライド株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7990 URL <http://www.globeride.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 一成
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長兼経営企画室長 (氏名) 谷口 央樹 (TEL) 042-475-2115
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月8日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	100,304	13.6	7,405	104.9	7,145	131.6	4,797	327.2
2020年3月期	88,258	0.5	3,613	△5.4	3,085	△5.7	1,123	△62.0

(注) 包括利益 2021年3月期 5,315百万円(-%) 2020年3月期 450百万円(△46.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	417.75	—	19.1	9.2	7.4
2020年3月期	97.79	—	4.9	4.1	4.1

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	77,730	27,577	35.3	2,389.52
2020年3月期	77,970	23,023	29.3	1,992.51

(参考) 自己資本 2021年3月期 27,439百万円 2020年3月期 22,883百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	15,842	△3,376	△8,356	9,157
2020年3月期	1,674	△3,836	2,224	4,893

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2020年3月期	—	30.00	—	35.00	65.00	746	66.5	3.2
2021年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00	803	16.8	3.2
2022年3月期(予想)	—	35.00	—	40.00	75.00		15.1	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	58,000	19.4	5,400	32.7	5,300	34.4	4,000	60.0	348.34
通期	110,000	9.7	8,000	8.0	7,800	9.2	5,700	18.8	496.38

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2021年3月期	12,000,000株	2020年3月期	12,000,000株
2021年3月期	516,915株	2020年3月期	515,185株
2021年3月期	11,484,019株	2020年3月期	11,485,226株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	48,039	11.3	2,061	—	3,177	229.0	1,557	122.6
2020年3月期	43,150	△2.3	26	△89.2	965	△18.6	699	△69.9
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	135.64		—					
2020年3月期	60.92		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2021年3月期	55,952		19,714		35.2	1,716.84		
2020年3月期	57,380		17,938		31.3	1,561.90		

(参考) 自己資本 2021年3月期 19,714百万円 2020年3月期 17,938百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 経営方針	3
(1) 会社の経営の基本方針	3
(2) 目標とする経営指標	3
(3) 中長期的な会社の経営戦略	3
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
4. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う昨年4月の緊急事態宣言発令後、総じて厳しい状況にありましたが、同宣言解除後は経済活動の段階的再開により徐々に持ち直しの動きも見られました。しかしながら感染者数が昨秋以降再び増加傾向となり、今年1月には2度目の緊急事態宣言が発令される等、ウイルスの感染状況に左右される状況が続きました。また海外においても新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済停滞が長期化しており、先行きが見通せない状況が続きました。

こうした経済情勢の下、当社グループの属するスポーツ・レジャー用品等の業界は、当社グループの提案するフィッシングを中心としたスポーツ・レジャーが、コロナ禍において密閉・密集・密接のいわゆる「3密」を避ける等、これからの時代にマッチしたレジャーとして支持を広げると共に、自然志向や健康志向が全世界に広がりを見せる中、自然とスポーツを愛する人々に貢献するために、ライフタイム・スポーツ（人生を豊かにするスポーツ）の提案に鋭意努めてまいりました。その結果、当連結会計年度におきましては、売上高は1,003億4百万円（前期比13.6%増）となりました。利益面におきましては増収効果により、営業利益は74億5百万円（前期比104.9%増）、経常利益は71億4千5百万円（前期比131.6%増）となりました。特別損益につきましては、投資有価証券売却益を計上した一方、ラケットスポーツ用品の小売事業を展開している当社の連結子会社であるウインザー商事株式会社、及び本社ゴルフ事業においてコロナ禍の影響による収益悪化に伴い、現有資産を減損処理することと致しました。その結果、親会社株主に帰属する当期純利益は47億9千7百万円（前期比327.2%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高及び振替高を含んでおります。

①日本

日本地域におきましては、当社グループの提案するフィッシングを中心としたライフタイム・スポーツが、いわゆる「3密」を避ける等これからの時代にマッチしたレジャーとして支持を広げると共に、コアユーザーへのこだわりの高機能品から初心者・ファミリー層への手ごろに楽しめるエントリー製品の充実に至るまで、多様な市場ニーズの対応に注力してきました。その結果、売上高は720億9千万円（前期比11.2%増）となりました。セグメント利益はイベントの自粛や出張等の移動制限による販管費の減少により、59億4千7百万円（前期比75.8%増）となりました。

②米州

米州地域におきましては、春先に新型コロナウイルス感染症の影響を受け市場は大幅な落ち込みとなりましたが、規制の緩和を受け徐々に回復に向かいました。このような中当社は、ダイワ・テクノロジー搭載の新製品が好調に推移した事等により、売上高は80億2千1百万円（前期比21.5%増）、セグメント利益は1億6千8百万円（前期比12.5%増）となりました。

③欧州

欧州地域におきましては、各国で厳しいロックダウンが実施されましたが、解除後はアウトドアスポーツ需要は急速に回復し、その後堅調に推移しました。このような中当社は、地域のニーズに合った新製品が好評を博し、売上高は105億9千万円（前期比8.9%増）、セグメント利益は5億9千1百万円（前期比32.0%増）となりました。

④アジア・オセアニア

アジア・オセアニア地域におきましては、国によってバラつきはありますが、中国市場がいち早くコロナ禍から回復、全体を牽引しました。そのような中、市場に適合した新製品の発売やマーケティングの強化により、売上高は312億9千5百万円（前期比13.5%増）、セグメント利益は27億3千万円（前期比33.9%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は777億3千万円と前連結会計年度末と比べ2億4千万円減少しております。これは主に、たな卸資産が減少したことによるものです。

負債合計は501億5千2百万円と前連結会計年度末と比べ47億9千4百万円減少しております。これは主に、借入金が増加したことによるものです。

純資産合計は275億7千7百万円と前連結会計年度末と比べ45億5千4百万円増加しております。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益を計上したこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ42億6千4百万円増加し、91億5千7百万円（前連結会計年度末は48億9千3百万円）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産が減少した事、また、税金等調整前当期純利益を計上したことにより、158億4千2百万円の収入（前連結会計年度は16億7千4百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備や新製品生産用金型を中心とした設備投資を行ったことから、33億7千6百万円の支出（前連結会計年度は38億3千6百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入金の減少により、83億5千6百万円の支出（前連結会計年度は22億2千4百万円の収入）となりました。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内・海外共にコロナ禍の収束が見通せない中、市場環境は予断を許さない状況が続くものと予測されますが、今後も「攻めの経営」を堅持し、持続的に成長可能な事業基盤を構築すべく、グループを挙げて一層の躍進に挑戦してまいります。

次期業績見通しにつきましては、連結売上高1,100億円（前年比9.7%増）、連結営業利益80億円（前期比8.0%増）、連結経常利益78億円（前期比9.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益57億円（前期比18.8%増）を予想しております。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、“Feel the earth”（地球を五感で楽しもう）をテーマに、地球を舞台に、スポーツを通じ、人生の豊かな時間を提供するライフタイム・スポーツ・カンパニーとして、自然とスポーツを愛する世界中の人々に貢献してまいります。

(2) 目標とする経営指標

当社グループは、「新・中期経営計画2023（2021年度～2023年度）を策定し、最終年度（2023年度）の到達目標を以下のとおり設定いたしました。

	到達目標	参考	
	2023年度 自 2023年4月1日 至 2024年3月31日	2020年度 自 2020年4月1日 至 2021年3月31日	2020年度対比
連結売上高	1,250億円	1,003億円	25%増収
連結営業利益	100億円	74億円	35%増益
1株当たり配当金(年間)	85円	70円	15円増配

(3) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、2008年のリーマンショック、2011年の東日本大震災など、厳しい経営環境下にあっても、縮小均衡の先には未来はないとの考えから、2012年度より、経営の軸足を守りから攻めに転じ、売上の拡大に鋭意努めてまいりました。

また2020年度におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による甚大な影響が全世界に及ぶ中、緊急対応としての「守りの経営」に機動的に着手し、業績の確保に努めました。

このような中、未曾有のコロナ禍にあってもグローバル・サプライチェーンの維持・強化を図ると共に、当社が提唱するライフタイム・スポーツ（人生を豊かにするスポーツ）の創造・普及に努め、9期連続の増収を果たすと共に、10期連続の増配を実現いたしました。

未だコロナ禍の影響が及ぶ中、国内における少子高齢化・総人口減少問題や、先行き不透明な世界経済など、市場環境は予断を許さない状況が続くものと予測されますが、これまでの取り組みと成果を踏まえ、今後も「攻めの経営」を堅持し、持続的に成長可能な事業基盤を構築すべく、グループを挙げて一層の躍進に挑戦してまいります。

(事業別戦略の概要)

[フィッシング事業]

当社の主力事業であり、世界トップの地位を有しております。

フィッシング・ブランドの「DAIWA」（ダイワ）は、「Feel Alive」最高の瞬間を感じていただくために、革新的な「ダイワ・テクノロジー」の開発・製品展開と、自然と日常が近づく新しいライフスタイルの創造、そしてサステイナブルな環境を育み、世界のフィッシング市場を牽引します。

[ゴルフ事業]

スタイリッシュに上質な大人のゴルフを提案する「ONOFF」（オノフ）、すべてのゴルファーに最適な14本を提案する「FOURTEEN」（フォーティーン）、オンリーワンを求めるこだわりのゴルファーを魅了する「RODDIO（ロッドディオ）」ブランドを中心に、洗練された独自の世界観のあるブランディングを推進し、ブランド価値の向上をめざします。

[スポーツ事業]

歴史の中で培った品位と、プレースタイルをも変える革新的テクノロジーで、オンコートからオフコートまでラケットスポーツ・ライフを提案する「Prince」（プリンス）、走る喜び・勝つ喜びを提案する「Corratec」（コラテック）、「Focus」（フォーカス）ブランドを中心に展開するサイクルスポーツ等、各ブランディングの最適化と日本市場に適合した商品・サービスの開発に取り組み、ブランド価値の向上をめざします。

また当社は、経営戦略の柱となる施策を以下のように設定いたしました。

1) 市場優位性の追求

市場の要請に的確に対応できる事業体制を構築し、人生の新たな感動を創り出す企画・開発力、高い品質と価値のある製品提供力、そしてブランド認知度・信頼度・満足度の更なる向上をめざします。

2) 国内市場の活性化と健全化

魅力溢れる市場・リテール開発やアフターサービスの拡充、物流機能の革新、そして次代を担うファンづくりなどに注力し、国内の事業基盤を強化します。

3) 海外市場の攻略

生販一体となったグローバル・マーケティングの強化を図るとともに、世界4ブロック戦略を推進し、市場特性に適合した事業基盤を構築します。

4) 環境への取り組み

地球に優しい製品・サービスづくりや、豊かな森林や水辺の保全、そして自然体験を通じた環境学習機会の提供などに取り組み、人と自然が共に生きる持続可能な社会づくりに貢献します。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの財政状態や経営成績を表すために一部の会計基準が日本基準と I F R S では異なりますが、現在のところは日本基準が妥当であると考えております。したがって、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する予定であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,006	9,600
受取手形及び売掛金	13,306	10,712
電子記録債権	352	249
商品及び製品	22,940	20,626
仕掛品	3,379	3,091
原材料及び貯蔵品	3,326	3,413
その他	3,366	3,036
貸倒引当金	△230	△440
流動資産合計	51,447	50,291
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,212	12,650
減価償却累計額	△7,684	△7,884
建物及び構築物（純額）	4,528	4,766
機械装置及び運搬具	11,937	12,252
減価償却累計額	△7,874	△7,949
機械装置及び運搬具（純額）	4,062	4,302
土地	4,526	3,799
建設仮勘定	835	1,170
その他	17,180	15,952
減価償却累計額	△15,003	△13,989
その他（純額）	2,176	1,962
有形固定資産合計	16,129	16,001
無形固定資産		
その他	1,401	1,509
無形固定資産合計	1,401	1,509
投資その他の資産		
投資有価証券	4,516	5,512
繰延税金資産	2,192	2,209
退職給付に係る資産	17	2
その他	2,326	2,267
貸倒引当金	△62	△62
投資その他の資産合計	8,991	9,928
固定資産合計	26,522	27,438
資産合計	77,970	77,730

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,218	6,954
電子記録債務	6,920	6,470
短期借入金	18,784	12,800
未払金	2,779	3,184
未払法人税等	307	1,282
売上割戻引当金	120	119
返品調整引当金	191	109
ポイント引当金	552	614
賞与引当金	693	767
役員賞与引当金	13	23
その他	1,578	1,915
流動負債合計	37,161	34,242
固定負債		
長期借入金	10,509	8,785
再評価に係る繰延税金負債	889	889
退職給付に係る負債	5,706	5,677
その他	679	556
固定負債合計	17,785	15,909
負債合計	54,947	50,152
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,184	4,184
資本剰余金	0	—
利益剰余金	17,747	21,791
自己株式	△876	△881
株主資本合計	21,055	25,093
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,735	2,699
繰延ヘッジ損益	21	30
土地再評価差額金	1,977	1,977
為替換算調整勘定	△1,982	△2,296
退職給付に係る調整累計額	74	△65
その他の包括利益累計額合計	1,827	2,345
非支配株主持分	139	138
純資産合計	23,023	27,577
負債純資産合計	77,970	77,730

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	88,258	100,304
売上原価	56,090	63,726
売上総利益	32,168	36,578
販売費及び一般管理費	28,555	29,172
営業利益	3,613	7,405
営業外収益		
受取利息	32	22
受取配当金	81	83
不動産賃貸料	42	39
為替差益	—	47
受取ロイヤリティー	43	46
受取和解金	33	2
助成金収入	—	264
その他	303	334
営業外収益合計	537	841
営業外費用		
支払利息	365	297
売上割引	475	479
為替差損	63	—
訴訟関連費用	0	—
コミットメントフィー	37	121
その他	122	202
営業外費用合計	1,065	1,101
経常利益	3,085	7,145
特別利益		
固定資産売却益	9	14
投資有価証券売却益	—	94
特別利益合計	9	109
特別損失		
固定資産売却損	6	240
投資有価証券評価損	33	102
減損損失	692	427
臨時休業等による損失	—	32
その他	0	5
特別損失合計	733	809
税金等調整前当期純利益	2,362	6,446
法人税、住民税及び事業税	948	1,943
法人税等調整額	292	△292
法人税等合計	1,241	1,650
当期純利益	1,121	4,795
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△1	△1
親会社株主に帰属する当期純利益	1,123	4,797

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	1,121	4,795
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△566	963
繰延ヘッジ損益	11	8
為替換算調整勘定	△218	△312
退職給付に係る調整額	102	△140
その他の包括利益合計	△670	519
包括利益	450	5,315
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	451	5,315
非支配株主に係る包括利益	△0	△0

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,184	0	17,313	△872	20,625
当期変動額					
剰余金の配当			△689		△689
親会社株主に帰属する当期純利益			1,123		1,123
自己株式の取得				△3	△3
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—
利益剰余金から資本剰余金への振替					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	433	△3	430
当期末残高	4,184	0	17,747	△876	21,055

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,302	9	1,977	△1,762	△28	2,499	140	23,265
当期変動額								
剰余金の配当								△689
親会社株主に帰属する当期純利益								1,123
自己株式の取得								△3
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動								—
利益剰余金から資本剰余金への振替								—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△566	11	—	△219	102	△671	△1	△672
当期変動額合計	△566	11	—	△219	102	△671	△1	△242
当期末残高	1,735	21	1,977	△1,982	74	1,827	139	23,023

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,184	0	17,747	△876	21,055
当期変動額					
剰余金の配当			△746		△746
親会社株主に帰属する当期純利益			4,797		4,797
自己株式の取得				△5	△5
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△7			△7
利益剰余金から資本剰余金への振替		7	△7		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△0	4,043	△5	4,037
当期末残高	4,184	—	21,791	△881	25,093

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,735	21	1,977	△1,982	74	1,827	139	23,023
当期変動額								
剰余金の配当								△746
親会社株主に帰属する当期純利益								4,797
自己株式の取得								△5
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動								△7
利益剰余金から資本剰余金への振替								—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	963	8	—	△313	△140	517	△1	516
当期変動額合計	963	8	—	△313	△140	517	△1	4,554
当期末残高	2,699	30	1,977	△2,296	△65	2,345	138	27,577

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,362	6,446
減価償却費	2,698	2,742
減損損失	692	427
のれん償却額	51	—
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	97	62
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	49	△82
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7	214
売上割戻引当金の増減額 (△は減少)	4	△3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13	75
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13	9
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△73	△207
受取利息及び受取配当金	△114	△105
支払利息	365	297
為替差損益 (△は益)	0	△55
有形固定資産売却損益 (△は益)	△3	226
有形固定資産除却損	39	108
売上債権の増減額 (△は増加)	△778	2,531
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,762	2,209
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△1,048	286
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,803	1,374
未払金の増減額 (△は減少)	△293	22
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	153	326
預り保証金の増減額 (△は減少)	60	△36
その他の営業外損益 (△は益)	△42	△39
投資有価証券売却損益 (△は益)	0	△89
投資有価証券評価損益 (△は益)	33	102
その他	29	26
小計	3,329	16,868
利息及び配当金の受取額	114	105
利息の支払額	△359	△293
法人税等の還付額	—	194
法人税等の支払額	△1,452	△1,072
その他の収入	42	39
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,674	15,842

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△57	△409
定期預金の払戻による収入	369	97
有価証券の取得による支出	—	△6,000
有価証券の売却及び償還による収入	—	6,000
有形固定資産の取得による支出	△3,538	△2,939
有形固定資産の売却による収入	29	514
無形固定資産の取得による支出	△390	△849
投資有価証券の取得による支出	△104	△5
投資有価証券の売却による収入	3	281
貸付けによる支出	△4	△2
貸付金の回収による収入	4	3
子会社株式の取得による支出	—	△7
その他	△147	△61
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,836	△3,376
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	135,888	84,532
短期借入金の返済による支出	△133,876	△90,060
長期借入れによる収入	6,100	3,390
長期借入金の返済による支出	△5,054	△5,356
自己株式の取得による支出	△3	△5
配当金の支払額	△689	△746
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
その他	△140	△109
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,224	△8,356
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40	154
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	21	4,264
現金及び現金同等物の期首残高	4,872	4,893
現金及び現金同等物の期末残高	4,893	9,157

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に釣用品、ゴルフ用品及びラケットスポーツ用品等を生産・販売しており、国内においては当社及び連結子会社が、海外においては各地域をそれぞれ独立した現地法人が担当しており、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした地域別セグメントから構成されており、「日本」、「米州」、「欧州」及び「アジア・オセアニア」の4つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	
売上高					
外部顧客への売上高	58,632	6,590	9,702	13,332	88,258
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,213	11	19	14,245	20,490
計	64,846	6,602	9,722	27,578	108,749
セグメント利益	3,382	149	448	2,038	6,018
セグメント資産	58,995	3,816	6,799	18,480	88,091
その他の項目					
減価償却費	1,357	36	94	894	2,383
のれんの償却額	40	—	10	—	51
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,559	31	68	1,570	3,229

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	
売上高					
外部顧客への売上高	65,296	8,009	10,590	16,407	100,304
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,793	11	0	14,887	21,692
計	72,090	8,021	10,590	31,295	121,997
セグメント利益	5,947	168	591	2,730	9,438
セグメント資産	55,878	3,130	7,115	19,894	86,017
その他の項目					
減価償却費	1,336	28	119	966	2,450
のれんの償却額	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,340	13	54	1,641	4,049

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	108,749	121,997
セグメント間取引消去	△20,490	△21,692
連結財務諸表の売上高	88,258	100,304

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	6,018	9,438
セグメント間消去及び全社費用(注)	△2,405	△2,032
連結財務諸表の営業利益	3,613	7,405

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	88,091	86,017
セグメント間資産の消去	△19,515	△20,509
全社資産(注)	9,394	12,221
連結財務諸表の資産合計	77,970	77,730

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る資産であります。

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表 計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	2,383	2,450	208	224	2,591	2,674
のれんの償却額	51	—	—	—	51	—
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,229	4,049	213	185	3,442	4,235

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,992円51銭	2,389円52銭
1株当たり当期純利益金額	97円79銭	417円75銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,123	4,797
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	1,123	4,797
普通株式の期中平均株式数(株)	11,485,226	11,484,019

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	23,023	27,577
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	22,883	27,439
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	11,484,815	11,483,085

(重要な後発事象)

該当事項はありません。